

たなばた がつ か よる あま がわ わた ねん いちど
七夕は、7月7日の夜に、天の川を渡って年に一度だけ

あ ゆる ひこぼし おりひめ はなし ちゅうごく
会うことを許された「彦星」と「織姫」のお話で、中国

つた ひ ねが ごと か たんざく ささ
から伝わりました。この日は、願い事を書いた短冊を笹の

は かざ つ はたお いと み た
葉に飾り付け、機織りの糸に見立てたそうめん

た しゅうかん
を食べる習慣があります。



きゅうしょく いちにちはや つか
給食では、一日早いですが、うなぎを使ったちらし

じる ほしがた かんてん
ずしやそうめん汁、デザートには星型の寒天と

つく ていきょう
サイダーで作ったゼリーを提供します。





うなぎちらし、^{とうがん}冬瓜のそぼろあんかけ、^{じる}そうめん汁、^{たなばた}七夕サイダーゼリー